

燃料製造所竣工
バイオ燃料
姫路製造所

環境負荷低減と エネ安定供給へ

富士興産



川崎社長



横田社長

踏まえ「これまでに類をみない最高水準の設備。製造業の立ち位置に戻るといふ大きな意味を含め、社史に刻まれるもの」と強調し、

環境対策とエネルギー安定供給を前面に、来るべきバイオ燃料時代への挑戦を掲げた。一方、富士興産に飾るべきバイオ燃料時代の磨油槽所の敷地を貸す

形で同製造所の竣工を迎えた、横田石油（ENEOS系＝姫路市）の横田昌彦社長は式典の席上「ランプ用の石油を主力に明治の創業以来、たいへん思い入れのある土地。石油がエネルギー業界で生き残るためにも、バイオ燃料需要への期待は大きい」と話した。

【姫路市＝兵庫】富士興産は、バイオ燃料製造拠点の姫路製造所（兵庫県姫路市）を11月21日に竣工し、翌22日から試運転を開始、年明け以降に本格稼働させる（11月26日付1面既報）。

川崎靖弘社長は、ブレンダーや受け入れ、出荷体制などの特徴を